

キャリアラダー段階別目標

		ラダー I		ラダー II		ラダー III		ラダー IV		ラダー V	
3つの能力		支援を受けながら患者にとって最善の看護を提供する	看護計画に基づき患者にとって最善の看護を提供する	患者にとって最善で個別的な看護計画を考え看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち患者にとって最善の看護を実践する					より複雑な状況において、患者にとっての最善の手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する	
看護の核となる実践能力	捉える力	助言を得て患者や状況（場）のニーズを捉える	患者や状況（場）のニーズを自ら捉える	患者や状況（場）の個性や特性を踏まえたニーズを捉える	患者や状況（場）を統合してニーズを捉える	患者や状況（場）の関連や意味を踏まえニーズを捉える					
	ケアする力	助言を得ながら安全な看護を実践する	患者や状況（場）に応じた看護を実践する	患者や状況（場）の特性を踏まえた看護を実践する	様々な技術を選択、応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する					
	協働する力	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	患者やその関係者、多職種と連携できる	患者を取り巻く多職種の力を調整して連携できる	患者の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携を活かす					
	意思決定を支える力	患者や周囲の人々の意向を知る	患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	患者や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	患者や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる					
組織的役割遂行能力		メンバーシップの役割が支援を受けながら遂行できる	メンバーシップの役割が支援を受けながら遂行できる	メンバーシップの役割が遂行できる	所属するチームで、リーダーシップを発揮できる	看護単位での目的に向かって組織的役割が遂行できる					
自己教育研究能力		自己の教育的課題を発見できる	自己の教育的課題を発見できる	自己の教育的課題の達成に向けた教育活動を展開することができる	自己の教育的課題の達成に向けた教育活動を展開することができる	看護単位で専門領域や高度な看護技術等について自己教育活動を展開し、学びをスタッフに指導することができる					